

科目名	医用機器品質管理学				分野・必選別・単位数	共通科目	選択	2単位
担当教員	◎教授 大谷浩樹 教授 岡本孝英					授業方法	講義	
課程	博士前期	配当年次	1年	配当学期	後期	配当コース	診療放射線コース 医学物理士コース	
授業の概要	保健物理学の成り立ちを説明しながら、各種放射線のリスクとそれに対する防護の考え方を修得する。							
授業の到達目標	各種放射線の特徴を理解し、被ばくに対するリスクと防護について説明できる。							
授業計画	回数	担当者			行動目標			
	1	岡本 孝英	教 授	放射線防護の歴史および医療安全とは何かについて説明できる。				
	2	岡本 孝英	教 授	放射線防護関連組織・機関について説明できる。				
	3	岡本 孝英	教 授	放射線の線源とその利用について説明できる。				
	4	岡本 孝英	教 授	放射線の生物影響・リスクについて説明できる。				
	5	大谷 浩樹	教 授	放射線の物理量・防護量・実用量について説明できる。				
	6	大谷 浩樹	教 授	ICRP組織・被ばくの区分・放射線影響および線量について説明できる。				
	7	大谷 浩樹	教 授	線量モニタリング・外部内部被ばく・測定器について説明できる。				
	8	大谷 浩樹	教 授	個人線量計・サーベイメータ・測定器の校正について説明できる。				
	9	大谷 浩樹	教 授	放射線管理実務の教育研修について説明できる。				
	10	大谷 浩樹	教 授	原子力基本法・放射線障害防止法・医療法について説明できる。				
	11	大谷 浩樹	教 授	電離放射線障害防止規則・人事院規則および国内外ガイドラインについて説明できる。				
	12	大谷 浩樹	教 授	放射線診断・核医学・放射線治療の防護管理について説明できる。				
	13	大谷 浩樹	教 授	環境の防護について説明できる。				
	14	大谷 浩樹	教 授	非電離放射線の防護について説明できる。				
15	大谷 浩樹	教 授	災害・事故による環境汚染対策について説明できる。					
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	次回の授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。						
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、教科書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。						
	【必要時間】	該当期間に30時間以上の予復習が必要。						
教科書	赤羽恵一著 医療放射線防護学 国際文献社							
参考書	西谷源展監修 放射線安全管理学 オーム社							
評価方法	レポート20%、口頭質問80%							
その他履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義の中で解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP3が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。							